

令和元年6月5日

嬉野市議会

議長 田中 政司 様

総務企画常任委員会

委員長 山口 忠孝

## 総務企画常任委員会報告書

平成31年3月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名

### バリアフリーの取り組みについて

#### 調査の理由

本年6月28日に全国バリアフリー観光推進全国大会が本市で開催される。本市の基幹産業である観光業の一躍を担うバリアフリーツーリズムに取り組んでいる佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターの実態と今後の課題について意見交換会を行った。

#### 調査の概要

平成31年4月24日、新設された嬉野市民センターにおいて、佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター会長 小原健史氏以下役員の方々と意見交換を行った。

#### ○これまでの活動について

- ・平成19年佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター設立
- ・平成20年第1回ニューミックステニス大会開催
- ・平成21年第1回湯らっくすコンサート開催
- ・平成22年嬉野市で第5回全国UD大会開催
- ・平成24年UD浴衣を開発
- ・平成25年入浴介助事業を開始
- ・平成26年観光防災アプリを開発

#### ○活動の概要について

高齢者や車いす利用者、その他の障害者、外国人など様々な人にとってやさしい温泉地を目指して、宿泊施設や商店街のユニバーサルデザイン化などのハ

ード整備に加え、温泉での入浴介助を始め、宿泊施設の選定や予約、必要な介助器具のレンタルなどのソフト事業を行っており、全国から高い評価を受け、平成 27 年には、国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰を受賞している。

○今後の課題や取り組みについて

- ・任意団体からNPO団体への組織改革を
- ・県や市の補助金を主体とした運営からより多くの自主財源の確保へ
- ・県内や九州内のUD調査委託事業で実務型ビジネスの確立を
- ・障害者向けの旅行商品メニューの開発と販売
- ・新幹線駅舎や温泉街のUD化やバリアフリー化

## 委員会の意見

開かれた議会をめざす取り組みの一つとして、委員会と担当課が所管する民間団体との意見交換を行い、市民の意見を広く取り入れることを目的として今回の会議を実施した。

佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターは観光商工課や観光連盟と提携して、県内外の高齢者や障害者の旅行のサポートを行うことを目的にしているのだが、バリアフリーやUD化は地域福祉課的な仕事内容でもあり、重なり合う部分があり、共通の目的や理念がみられる。このため、課を横断した幅広い対応が求められる。バリアフリーやUD化は交流人口のためだけではなく、地域住民へも充分還元されるべきものである。

今後は市民を巻き込んだバリアフリーやUD化の意識づけが必要であり、時代の変化とともに新しい社会環境づくりをめざしていかなければならないと考える。